

入門ゼミ

| 講義情報 | |
|-------|-------|
| 講義名: | 入門ゼミ |
| 教員: | 山崎 友紀 |
| 単位: | 4 |
| カテゴリ: | 経済学部 |

| 開講情報 | |
|--------|----|
| キャンパス: | 多摩 |
| 開講時期: | |
| 開講学年: | |
| 昼夜区分: | 共通 |
| 曜日・時間: | |

講義開講情報

Class: Z

授業の到達目標及びテーマ

2年次以降、経済学部でのゼミ活動を行うために必要な素養を養うことを目的とする。
自ら調査研究を行うために必要とされる内容について基礎学習や演習を行う。

授業の到達目標及びテーマ(Webのみ)

2年次以降、経済学部でのゼミ活動を行うために必要な素養を養うことを目的とする。
自ら調査研究を行うために必要とされる内容について基礎学習や演習を行う。

授業の概要と方法

- ・図書館利用方法(文献活用方法)
- ・WEB活用方法(パソコンとインターネットによる情報入手方法)
- ・情報リテラシー(ネット、WEBの利便性と落とし穴)
- ・プレゼンのテクニック(他人の前で自分を表現する方法)
- ・パワーポイント、エクセル、ワードなど必須のソフトウェアの扱い
- ・エクセルによる表計算
- ・グラフや図表の読み書き
- ・グループ調査研究と報告
- ・個人調査研究と報告

などを一年を通じて身に付ける。

授業の概要と方法(Webのみ)

- ・図書館利用方法(文献活用方法)
- ・WEB活用方法(パソコンとインターネットによる情報入手方法)
- ・情報リテラシー(ネット、WEBの利便性と落とし穴)
- ・プレゼンのテクニック(他人の前で自分を表現する方法)
- ・パワーポイント、エクセル、ワードなど必須のソフトウェアの扱い
- ・エクセルによる表計算
- ・グラフや図表の読み書き
- ・グループ調査研究と報告
- ・個人調査研究と報告

などを一年を通じて身に付ける。

授業計画

【前期】
第1-2回
■プレゼンの基礎(パワーポイントを使った自己紹介)
第3回
■授業支援システムの活用方法
第4回
■図書館やWEBを使った情報入手と情報リテラシー(図書館でのガイダンス)
第5回
■図書館学習についてレポート作成(ワードの活用方法)
第6回
■エクセル・ワード入門
第7-12回
■前期調査研究(グループ活動)
テーマ:『資源の有効利用と環境問題』(資源・環境・経済の結びつきについて理解を深める。)
第13-14回
■レポートの書き方を学ぶ(夏休みレポートの説明と調査開始)
テーマ:自分の育った地域にある「川」について(川や水の大切さ、河川を取り巻く地域環境などを調査)

【後期】
第1-3回
■夏休みレポートの報告会
第4-5回
■エクセル応用編(データ解析とグラフ作成の練習)
第6-9回
■グループ調査研究
テーマ:『海外旅行シミュレーション旅行計画』
第10-11回
■グループ調査研究の成果報告会
第12-13回
■個人調査研究
テーマ:『模擬旅行をした国と日本との経済的関係』
■個人調査研究の成果報告(レポート提出)

授業計画(Webのみ)

【前期】
第1-2回
■プレゼンの基礎(パワーポイントを使った自己紹介)
第3回
■授業支援システムの活用方法
第4回
■図書館やWEBを使った情報入手と情報リテラシー(図書館でのガイダンス)
第5回
■図書館学習についてレポート作成(ワードの活用方法)

第6回
 ■エクセル・ワード入門

第7-12回
 ■前期調査研究(グループ活動)
 テーマ:『資源の有効利用と環境問題』(資源・環境・経済の結びつきについて理解を深める。)

第13-14回
 ■レポートの書き方を学ぶ(夏休みレポートの説明と調査開始)
 テーマ:自分の育った地域にある「川」について(川や水の大切さ、河川を取り巻く地域環境などを調査)

【後期】

第1-3回
 ■夏休みレポートの報告会

第4-5回
 ■エクセル応用編(データ解析とグラフ作成の練習)

第6-9回
 ■グループ調査研究
 テーマ:『海外旅行シミュレーション旅行計画』

第10-11回
 ■グループ調査研究の成果報告会

第12-13回
 ■個人調査研究
 テーマ:『模擬旅行をした国と日本との経済的關係』
 ■個人調査研究の成果報告(レポート提出)

テキスト

自作プリントを適宜配付します。

参考書

1. 菊田千春, 北林利治著「大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術」東洋経済新報社, 2006年
2. 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』第3版 慶應義塾大学出版会, 2002年
3. 滝川好夫『アピールできるレポート／論文はこう書く！—レポートから学術論文まで—』税務経理協会, 2004年
4. 今中利信・廣瀬良樹『環境・エネルギー・健康 20講』化学同人, 2000年
5. 山崎友紀 ほか『熱エネルギー・環境保全の工学』コロナ社, 2002年
6. 山崎友紀『地球環境学入門』講談社, 2010年

成績評価基準

学部の評価基準に従います。
 授業への出席、提出物、プレゼンテーションを総合して評価します。

成績評価基準(Webのみ)

学部的评价基準に従います。
 授業への出席、提出物、プレゼンテーションを総合して評価します。

情報機器使用

授業支援システムを使うので、必ず登録をしてください。

PRINT